

## 平成27年度第3回島根県公共事業再評価委員会質疑応答

件名	平成27年度 第3回島根県公共事業再評価委員会						
日時	平成27年8月21日(金) 11:00~16:20						
場所	抽出地区(津和野町、吉賀町、江津市)						
出席者	<ul style="list-style-type: none"> <li>●委員 安部康二、宗村広昭、高田龍一、寺田哲志、常國文江 平川淳子、三輪淳子(敬称略)</li> <li>●県 土木部 技術管理課長、道路建設課GL、河川課GL 津和野事業所課長、浜田県土整備事務所課長、他</li> </ul>						
議事	<p>抽出箇所の現地調査</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 一般県道柿木津和野停車場線</td> <td style="width: 50%;">中座</td> </tr> <tr> <td>2 総合流域防災事業</td> <td>高津川(六日市)</td> </tr> <tr> <td>3 主要地方道田所国府線</td> <td>有福温泉</td> </tr> </table>	1 一般県道柿木津和野停車場線	中座	2 総合流域防災事業	高津川(六日市)	3 主要地方道田所国府線	有福温泉
1 一般県道柿木津和野停車場線	中座						
2 総合流域防災事業	高津川(六日市)						
3 主要地方道田所国府線	有福温泉						

### 質疑応答

#### ◆一般県道柿木津和野停車場線 中座

(委員) (盛土予定箇所が多く残っているのを見て) 土はありますか。

(県) 他事業の残土を持ってきますが、一部土が不足し賄土をする予定です。

(委員) この道路が出来ると北の玄関口との間の街中はバスや自転車で移動という話だったが、車はもう通れなくなるのか。

(県) いいえ、車は通れます。実際通行止めはしないと思いますが、大型バスが通りにくいので、北と南のどちらかの駐車場で停まって降りてもらおうか、一方通行になるかと思いません。

(委員) 街中を歩行者天国みたいにはしないのか。

(県) 住んでいらっしゃる方もたくさんいますのでそれはできません。

(委員) 県の方針としては現道をあまり使わなくなるような方向で行きたいということか。

(県) そうです。

(委員) 現道を使わなくする対策はするのか。多分、人間は慣れ親しんだ道を通ると思うので、バス以外の車は現道を通ってしまうと思う。

(県) 街中には駐車場が少ないので、観光客は北と南のどちらかの駐車場に停めることになると思います。

- (委員) 戦略的に誘導するようなことはしないのか。
- (県) いろいろ津和野町が考えてはおられます。循環バスを走らせたりとか、基本的にはどちらかに停めて街中は歩いてもらうようなことを考えています。
- (委員) 仕分けのルールを作っても導いてあげないとなかなか自分たちの思うようにはいかないと思う。
- (県) 大型車は今だと北の入り口から入ってまた戻るしかないので、この道路ができると通り抜けることもできるようになる面もあります。
- (委員) 現道の(一) 柿木津和野停車場線にある鳥居をこの道路に移すことで南の玄関口とはつきりすればほとんどの車はこっちの道路に入ってくるのではないか。
- (県) あれはコンクリートで、大変な重量もあり動かさないとします。この道路の幅を跨ぐだけの大きさありません。
- (委員) 現道は降りるとすぐ街中になる。委員のおっしゃったように地元の人には慣れ親しんだ現道を使えばいいかもしれない。交通量も減るし、地元の人には便利になるかもしれない。前の再評価の時もそのような議論をした。
- (県) 歩道のない街中で、外から来た大型車が通ると子供が非常に危ないという声もあり、街中の大型車を減らすというのが今回の一番の目的です。
- (委員) このような戦略で外からの大型車や一般車両を減らすという方向性や狙いが分かる県や津和野町の資料があればほしい。
- (県) 何年前かに町のまちづくりの委員会が開かれており、その中でも議論されていますので、そのあたりの資料を整理したうえでお渡しします。
- (委員) そうすると地域でのこの道路の位置づけが分かると思うのでいいと思う。
- (委員) JRは跨線橋ではなくてアンダーで通してもよかったのではないか。
- (県) ずっと7%の一律の勾配で上がってきており、アンダーで通すとその後勾配が更にきつくなります。
- (委員) 制限勾配いっぱいルート設定してあるということか。
- (県) 設計速度40 km/hだと勾配7%以下という基準があり、ここをアンダーで通すと8%や9%の箇所が出てくることになります。
- (委員) 災害発生の写真がありますが、これは実際どのくらいの規模だったのですか。
- (委員) 復旧予算も教えてほしい。今日でなくてもいい。それと今後ほかの場所がこのようになるかもしれないことに対してどのような対策をしたのか
- (県) この被災の原因は、はっきりしており崩れたあたりの下に国道9号からの水が集まって流れるようになっておりました。国道9号側の工事に併せて水が通らないように遮断する工事をしました。
- (委員) このルートのほかの場所ではこのようなことはもう起らないのか
- (県) そこにパイプが見えるのですが、盛土の中に水が入っても水が抜けるようにしています。

(委員) 今いる盛土はどのような工法になっていますか。

(県) これが土留めで、これが崩れないように鉄の板みたいなのがこの今いる場所に入って引っ張っています。

(委員) 自然と共生していないように思いますが、そんなことはないですか。

(県) 土の重さで向こう側へ崩れないように引っ張ってあるという形で、法面は草が生えるようになっています。

(委員) こういう急なところを留める擁壁として、もう何十年も実績のある工法です。普通だったら土を盛るけれども、そこに川があるし用地が取れないからどうしても構造物でやるしかない。

(委員) 水処理のパイプは永久に持つものですか。

(委員) 耐用年数がどのくらい持つかということです。もちろん維持管理もしますよね。

(県) はい。

(委員) ラーメン構造とはどのようなものか教えてほしい

(県) 後日資料提供します。

#### ◆総合流域防災事業 高津川（六日市）

(委員) 重藤堰について、改修計画はどのようなタイプに変更するのか。

(県) 固定堰を転倒堰タイプに変更する予定。

(委員) 本箇所は川の深さが他河川と比べて浅く感じる。ほっておくと堆積するのか。

(県) 河積が著しく阻害されている箇所については、掘削により対応している。

(委員) 沢田堰（現地説明箇所の直下流に位置する堰）について、魚道は設置されているか。

(県) 設置している。

(委員) 河道に木が生えている。伐採すべきと考える。

(県) 河積が著しく阻害されている箇所については、伐採により対応している。

#### ◆主要地方道田所国府線 大金（フォローアップ箇所）

(委員) 用地難航箇所はどのあたりだったのか。

(県) このあたりです。ところどころ細長い残地が残ってしまうことに対して難色を示されました。

(委員) 前回のフォローアップでの指摘事項はどうだったか。

(県) 後日資料提供します。

(委員) 県がどのように努力して問題を解消したかも教えてほしい。

(県) 了解しました。

(委員) 進捗率の残りの5%は工事だけか。

(県) 残りは橋梁と舗装工事です。

(委員) 今年度完成するのか。

(県) 今年度予算で完成する予定です。ただし、予算繰越をして供用は来年度になるかもしれません。

#### ◆主要地方道田所国府線 有福温泉

(委員) 有福温泉は入口のところの道路が慣れないと走りにくい。三湯めぐりと謳っているのもう少し地元の当事者に協力してもらえれば工事も進むのではないか。

(県) この道路は、先ほど言われた入口の曲がり角が悪いので、大型バスが入りにくい状況です。また、この橋ができると渡った箇所スペースが結構広いので、そこに車も停めることができます。

(委員) この事業は地域の観光資源として整備されているので、地域の顔役を立てて対応してはどうか。用地はどういった問題なのか。

(県) 民境界の確定ができない状況です。ご意見をいただきましたように自治会に協力をお願いしています。